

参加者
募集

東北自然体験活動フォーラムin岩手山

「すべての子どもたちに自然体験を」

フォーラムのPOINT

東北地方には、山に、森に、川に、海にと多様な自然環境に囲まれ、
自然体験や環境教育活動に適したフィールドが広がっています。

本フォーラムでは、**実践的に活動する多種多様な
団体・個人**が集い、第一線で活躍される特別講師を迎えた
全体会や、多様な**分科会**を通じて、**課題**や**技術**、
思いを共有し、**新たな仲間**と**つながる場**を提供します。



2019年11月16日(土) 全体会・分科会

2019年11月17日(日) オフションプログラム

【開催場所】：国立岩手山青少年交流の家

【募集定員】：50人

【参加費】：8,000円

※別途、夕食兼情報交換会費2,000円、
宿泊シーツ代300円、朝食代420円

【申込方法】：webにて参加申し込み

<http://shizenasobi.jp/tohoku-ne-forum/application/>

【申込締切】：2019年10月31日(木)



主催：東北自然体験活動フォーラムin岩手山実行委員会

イワテきのご大祭実行委員会、くりこま高原自然学校、自然遊びクラス、森のようちえん 虹の森
NPO法人つがる野自然学校

共催：NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟

■講師・講座紹介

全体会紹介

すべての人に「楽しい」と「できた」を届けたい

－ 発達的气になる人たちと共に楽しむ自然体験活動を通して－

仲間と協力してご飯を作り、川遊びで岩の上からの飛び込みを楽しみ、垂直の岩を登る…発達的气になる子どもたちにとっても、自然体感活動は大きな楽しみであると同時に大切な学びの場になります。ただし、そこにはちょっとしたコツが必要になります。私たちの実践から得てきたそのコツをお伝えしながら、すべての人たちに自然体験を届けるための方策を一緒に探していきたいとおもいます。

野口 和行

(慶應義塾大学体育研究所教授)

慶應義塾大学体育研究所教授。大学生を対象に野外活動の授業を担当し、日々学生と自然の中で様々な活動を楽しんでいる。

また、「フチ冒険倶楽部」という団体で、発達障がいのある子どもたちを対象とした自然活動プログラムを実践している。



分科会紹介

1-A 冒険教育

ASE体験 ～野外ゲームで仲間作り～

豊留雄二(自然遊びクラブ)

グループでの課題解決の過程で、信頼関係の構築やコミュニケーションの促進などが期待されるASE(Action Socialization Experience)。

近年は、スポーツチームや企業研修でも取り入れられています。

そんなASEを実際に体験し、みなさんの活動に導入するヒントを探してみませんか？

1-B 環境学習

若者向け環境教育教材の体験

「はちリバ ～Hachiro Revival～」

鎌田洋平(NPO法人はちろうプロジェクト)

秋田県八郎湖流域の若者向け環境学習用に開発したゲーム教材「はちリバ～Hachiro Revival～」の体験を行います。2大学の学生23名の協力を得て、2年以上をかけて開発しました。楽しみながら地域の環境について考えてみませんか？

1-C 安全管理

現場で使えるファーストエイドキット(救急キット)の作り方

紺野祐樹(アースクエスト)

活動場所や活動内容、持っているスキルに合わせた現場で「使える」ファーストエイドキットを考えます。



2-A 森のようちえん

森で育つ子ども達とその教育効果

佐藤有里※1・小玉朋子※2

(NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟)

※1 NPO法人くにたち農園の会理事

※2 認定こども園 あきたこどもの森 園長

幼児期だからこそできること、すべてのことに、新鮮に感じることができるこの時期に、大人はどんな環境と関わりをサポートしていけば良いでしょう。自然の中で主体的な遊びを展開する教育実践を一緒に探りませんか。

2-B 発育発達

どうしたらいいの？発達的气なる子との関わり方

～発達障害や発達に遅れのある子が笑顔になるプログラムづくり～

黍原豊(一般社団法人三陸駒舎)

その自然体験は、子どもの発達につながっていますか？感覚統合を理解すれば、その子にとって本当に必要な活動が見えてきます。ホースセラピーなど様々な自然体験の事例を通して、子どもの発達との関係を紐解き、皆さんも実践できる活動を考えましょう。未就学児、発達障がい児やグレーゾーンの子に関わる方には、特にオススメです。

2-C 自然エネルギー

自然エネルギーと子どもたちの未来

～7世代先を考えた暮らし～

山田周生(一般社団法人1ヶ月でグリーン代表)

現代は目先のことに目を奪われ、日々の生活に追われ忙しすぎるように思います。少し立ち止まって自分は本当にしたいことをしているのか、考えてみてはどうでしょうか。そして、生活に必要なエネルギーは何を選択し、どんな生き方をしたいのか、未来を見据えて一緒に考えてみたいと思います。そして、グリーンエネルギーとアライアンスが伝える7世代先の子孫、「7generations」の話をしながら、私たちは未来の子ども達のために何ができ、今をどう生きるのか、世界100数十カ国を廻った山田と一緒に考えてみませんか。

■講師・講座紹介

分科会・オプションプログラム紹介

2-D ネイチャークラフト

山で海を感じる貝殻ストラップ作り

すみよしよしえ

(アトリエすみよし 代表 おが自然学校 代表)

貝殻の穴は、だれがあけたのでしょうか？

①人が機械であけた

②貝があけた

答え②ツメタガイが貝を食べる時にあけた穴です。

この穴を使って、ストラップを作ります。

男鹿水族館GAOで、おが自然学校が開催している「男鹿の貝殻でわくわく手づくり」の大人気プログラム「貝殻ストラップづくり」を体験します



貝殻ストラップ作例



森のようちえん活動風景

OP-A 森のようちえん

フチ森のようちえん体験

佐藤有里※1・清水冬音※2

(NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟)

※1 NPO法人くにたち農園の会理事

※2 森のようちえん虹の森代表

募集定員：10組

参加費：1,500円

対象：親子参加オススメ

(3歳以上はこどものみの参加も可)

講座時間：9:30～13:00

でかけてみよう森へ。そこらを探検したり、食べたり、絵本を読んだり…。森での活動の一部を自由に感じよう。心とからだがつながる森の中での様々な遊びや体験を促す活動のヒントを、参加者のみなさんで振り返り、明日からの活動につなげていただけたらと思います。

OP-B 安全管理

CONEリスクマネジメント講習会

～安全管理者研修(基礎)～

塚原俊也(くりこま高原自然学校)

募集定員：20名

参加費：3,000円+テキスト代1,000円

講座時間：9:30～12:30

自然体験活動指導者に対して、リスクマネジメント基礎講座を開講します。事故事例や最新の動向などの理解を深め安全管理に対する意識を向上しましょう

§1 リスクマネジメントとは §2 リスクのチェックポイント §3 事故事例とリスク回避

OP-C 環境学習

プロジェクトWET指導者養成講習会

豊留雄二(自然遊びクラブ)

募集定員：24名

参加費：一般10,000円/学生・教職員9,000円

講座時間：9:30～18:00

プロジェクトWETは、子どもたちが水の事を楽しく、体験を通して学べるように開発されたプログラムです。その水教育プログラムを使う指導者(エドューケーター)になるための講習会を開催します。

OP-D 野外教育

リーフノートレースアウェアネスワークショップ

～ローインパクトな野外活動～

紺野祐樹(アースクエスト)

募集定員：20名

参加費：3,300円

講座時間：9:30～14:30

LNTは、様々なフィールドを最小限のダメージで利用する方法を考えるワークショップです。活動の痕跡を残さず、生態系がなるべく早く回復するようにするにはどうすれば良いのか、体験的に学んで、自身の活動に生かすことが出来ます。今回は、東北での一般的なキャンプやトレッキングに生かせる内容で行います。

OP-E 環境学習

自然解説指導者(インタープリター)育成講座

谷口哲郎(NPO法人つがる野自然学校)

募集定員：20名

参加費：1,000円

講座時間：9:30～12:30

「インタープリテーション」とは、目に見える物や現象を通して、その背景や成り立ちを解説(通訳)する技術を言います。このインタープリテーションを活用し、自然解説や自然体験活動をさらに魅力的なプログラムを磨いてみませんか？

■参加申込・問い合わせ先

東北自然体験活動フォーラムin岩手山実行委員会

■専用HP:

<http://shizenasobi.jp/tohoku-ne-forum/>

■申し込み先:

<http://shizenasobi.jp/tohoku-ne-forum/application/>



Facebookにても詳細公開中

「東北自然体験活動

フォーラムin岩手山」を検索!!

■ 全体会・分科会・オフシヨンプログラム

全体会 16日 15:00~16:30

すべての人に「楽しい」と「できた」を届けたい

— 発達的气になる人たちと共に楽しむ自然体験活動を通して —

講師：野口和行（慶應義塾大学体育研究所教授）



分科会（1）16日 10:00~11:30

1-A 冒険教育

ASE体験 ~野外ゲームで仲間作り~
豊留雄二（自然遊びクラス）

1-B 環境学習

若者向け環境教育教材の体験
「はちリバ ~Hachiro Revival~」
鎌田洋平(NPO法人はちろうプロジェクト)

1-C 安全管理

現場で使えるファーストイドキット(救急セット)の作り方
紺野祐樹（アースクエスト）

分科会（2）16日 13:00~14:30

2-A 森のようちえん

森で育つ子ども達とその教育効果
佐藤有里※1・小玉朋子※2
（NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟）
※1 NPO法人くにたち農園の会理事
※2 認定こども園 あきたこどもの森 園長

2-B 発育発達

どうしたらいいの？ 発達的气なる子との関わり方
~発達障害や発達に遅れのある子が笑顔になるプログラムづくり~
黍原豊(一般社団法人三陸駒舎)

2-C 自然エネルギー

自然エネルギーと子どもたちの未来
~7代先を考えた暮らし~
山田周生（一般社団法人1111グリーン代表）

2-D ネイチャークラフト

山で海を感じる貝殻ストラップ作り
すみよしよしえ
（アトリエすみよし 代表 おが自然学校 代表）

オフシヨンプログラム 17日 9:30 ~

OP-A 森のようちえん

フチ森のようちえん体験
佐藤有里※1・清水冬音※2
（NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟）
※1 NPO法人くにたち農園の会理事
※2 森のようちえん虹の森代表

OP-B 安全管理

CONEリスクマネジメント講習会
~安全管理者研修（基礎）~
塚原俊也（くりこま高原自然学校）

OP-C 環境学習

プロジェクトWET指導者養成講習会
豊留雄二（自然遊びクラス）

OP-D 野外教育

リーフノートレース アウェアネス ワークショップ
~ローインパクトな野外活動~
紺野祐樹（アースクエスト）

OP-E 環境学習

自然解説指導者（インタープリター）育成講座
谷口哲郎（NPO法人つがる野自然学校）

10分プレゼンタイム 16日 16:30~18:00

参加者による活動・事例、研究報告などなど、「参加者による」、「参加者のための」時間です。普段の活動や課題、思いなどを10分間のプレゼンテーションで語り合ってみませんか？その後の交流会などで、さらに直接意見交換を行い、新たな仲間や仕事づくりなど、フォーラムを通じて次のアクションにつなげるきっかけとなることを期待しています。

8コマ枠（予定） 1コマ:10分質疑応答3分
※ [Microsoft office PowerPoint]による発表のみ対応可能。

■ 開催スケジュール

1日目

- 09:30~ 受付開始
- 10:00~ 分科会(1-A~1-C)
- 11:30~ 昼食※各自でご準備ください
- 12:30~ 受付開始
- 13:00~ 分科会(2-A~2-D)
- 14:30~ 休憩
- 15:00~ 全体会
- 16:30~ 10分プレゼンタイム
- 19:00~ 夕食・交流会

2日目

- 07:30~ 朝食
- 09:00~ 受付開始
- 09:30~ オフシヨンプログラム(OP-A~OP-E)
- 12:30~ オフシヨンプログラム毎に解散

